

わが

「海と社やしろに育まれる楽しい塩竈」の 実現に向けて

歴史と自然に恵まれた みなとまち

宮城県のほぼ中央、仙台市より北東へ16kmに位置する塩竈市は、日本三景松島の一部千賀の浦周辺に発達し、その風光明媚な地形により、古くは古今和歌集をはじめ



浦戸諸島から一望できる日本三景松島

多くの歌に詠まれてきました。奈良時代には大和政権の東北前進基地として、隣地に設けられた多賀城国府の荷揚げ港として栄え、江戸時代には伊達家の保護などもあり、鹽竈神社しおがまの門前町、仙台への荷揚げ港、松島遊覧の発着所として栄えました。



塩竈市魚市場にて初水揚げされたマグロ

日本有数の生鮮本マグロ水揚げ量を誇る本市は、例年5月から12月にかけて、本マグロをはじめ、メバチマグロ、ビンチョウマグロなど、さまざまな種類のマグロが大量に水揚げされます。特に、メバチマグロは「鮮度」「色つや」「脂のり」「うまみ」に優れており、塩竈の日本一の目利き人を選び抜か

れた季節限定のメバチマグロを「三陸塩竈ひがしもの」として全国に向けてブランド化しております。

先人たちに思いを馳せ、 新しい物語を共に

本市は、昭和16年に市制を施行してから、令和3年に80周年を迎えました。この大きな節目を迎えるに当たり、これまで先人たちが築き上げてきたまちの歴史を次世代に伝え、100周年に向けた新たな時代にふさわしいまちづくりを市民と共に考え、共に築き上げていく契機として、「先人たちに思いを馳せ、新しい物語を共に」をテーマに、市制施行80周年記念事業としてさまざまな取り組みを実施しました。

特徴的な事業としては、本市の



市制施行80周年記念で実施した「小中学校アートプロジェクト事業」

子どもたちが国際社会で活躍できるように、市内で働く外国人技能実習生との交流や海外研修(令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため国内研修を実施)を通じた「中学生国際交流研修事業」各小学校の学区内にある街区公園にて、子どもたち自らが植樹を行うことで、郷土愛を育成しながら魅力ある都市公園の整備を図る「緑と憩い再生事業」、アート作品を作る楽しさや経験を通し、未来の芸術・文化を支える人材の育成につなげるとともに、愛校精



鹽竈神社に咲き誇る国の天然記念物「鹽竈神社の鹽竈ザクラ」

神を醸成する「小中学校アートプロジェクト事業」を実施しました。これらの市制施行80年を契機に、また種一つ一つがストーリーとしてつながるよう10年、20年と育てながら、市民一人一人のシビックプライドの醸成を図りつつ、市民が「楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい」と感じていただける「新たな塩竈」の創造に向けて取り組んでまいります。

「海と社に育まれる楽しい塩竈」の実現に向けて、**塩竈市第6次長期総合計画がスタート**

令和4年度は、塩竈市第6次長期総合計画の初年度であり、10年後の目指すべき都市像「海と社に育まれる楽しい塩竈」の実現に向けた第一歩となる重要な年度です。

本市の喫緊の課題である人口減少と少子高齢化の進行に歯止めをかけるためには、子育て世帯の移住・定住を促進し、子どもを産み育てやすい環境を整えることで、持続可能なまちを実現する必要があります。また、ふるさと塩竈に生まれ、学び育ち、さらには結婚・出産を経て新たに子育てに取り組みむライフサイクルを幹とした、各ステージで楽しく、生き生きと暮らしていくための枝葉となる施策を充実させていくことが、若い世代がこのまちに住み続け、移り住んでいただくことにもつながります。

このことから、塩竈市第6次長期総合計画に掲げる施策のうち、「子育て」と「教育」の分野について、特に重点を置いて取り組みます。

まず「子育て」施策として、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、子育て世代包括支援センター「にこサポ」と「こころん」の二つの施設が連携を図り、相談・支援体制の充実や乳幼児の遊び場の提供を進めてまいります。また、子育て世帯の移住・定住促進として、住宅の取得を支援する「子育て・三世帯同居近居住宅取得支援事業」や、本市に居住し、婚

姻届を提出いただいた世帯を祝う「新婚さんいらっしゃい事業」、「誰もがいつでも・自由に憩える公園」の実現に向け、市内総合公園である伊保石公園の再整備に取り組みます。

次に「教育」施策として、社会をたくましく生き抜く力を育成するため、これまで教員が講義形式で行う一斉授業から子どもたちの学び合いを基本とする「学びの共同体」による授業づくりや、ピッ

プロフィール

- ◆ 面積 17・37km²
- ◆ 人口 5万3000人
- ◆ 世帯数 2万3855世帯

〔将来都市像〕海と社に育まれる楽しい塩竈（令和4年4月開始）塩竈市第6次長期総合計画

〔まちの特徴〕日本有数の生マグロの水揚げ量を誇る。歴史ある鹽竈神社と風光明媚な自然に恵まれたみなとまち



塩竈市長 佐藤光樹



〔特産品〕すし、水産物（生鮮マグロ類、かき・のり）、水産加工品（水産練り製品・塩蔵品）、藻塩、地酒

〔観光〕鹽竈神社（国指定文化財）、浦戸諸島、勝面楼（市指定文化財）、仲卸市場

〔イベント〕塩竈みなと祭（日本三大船祭りの一つ）、藻塩焼神事、鹽竈神社手祭、鹽竈神社花まつり

グデータを活用した各小中学校へのA I型ドリル導入など、「協力的な学び」と「個別最適な学び」との一体的な取り組みにより、児童生徒の学力の育成を展開していきます。

個性豊かで調和の取れた持続可能なまちづくりに向けて、多彩な魅力を生かした楽しさあふれるみなとまちを、市民をはじめとした多くの方々と共に創り上げてまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「活力あふれる健やか交流のまち」を目指し 市民が主役のまちづくりを推進

里海・里山の風景美に
全国百選のお墨付き

鴨川市は房総半島南東部、太平洋側に位置し、北部から東部に連なる清澄山系と、市の中央部を横断する嶺岡山系との間に、明治天皇



魚見塚展望台から望む市街地と前原・横渚海岸

への献上米として名高い長狭米の産地である長狭平野が開け、その平野の太平洋に面した地域に市街地が形成されています。恵まれた気候と変化に富んだ海岸線、新鮮で豊富な食材など貴重な自然資源はもとより、誕生

寺・清澄寺など日蓮聖人ゆかりの名刹古刹、全国レベルの集客力を持つ鴨川シーワールドをはじめとする観光施設、県内有数規模の宿泊施設、最先端の医療施設など、魅力ある地域資源を多数有しています。このうち、里海・里山の景色は全国的に高い評価を受けており、「前原・横渚海岸(日本の渚百選)」や「大山千枚田(日本の棚田百選)」 「清澄寺旭が森(日本の朝日百選)」 「天津小湊町誕生寺の線香と磯風(かおり風景100選)」などの景観美は、市民が等しく誇りとし、海岸清掃や棚田オーナー制度などを通じて大切に保全されています。また、千葉県内の特色ある景観92カ所を選定した「ちば眺望100景」には、魚見塚展望台など市内4カ所が選定され、多くの来訪者や観光客の目を楽しませています。

プロ仕様の総合運動施設が
スポーツ合宿に人気

鴨川市総合運動施設は、日本陸上競技連盟公認の陸上競技場、床面が人工芝の文化体育館、野球場、照明設備のある人工芝のサッカー場、ソフトボール場で構成される本格的なスポーツ施設で、プロ野球千葉ロッテマリーンズの秋季キャンプをはじめ、社会人や大学、高校生のスポーツ合宿などに、年間を通じて利用されています。

陸上競技場は、陸上競技での活用のみならず、県南初の女子サッカーチーム「オルカ鴨川FC」の本拠地として、なでしこ部リーグのホームゲームが開催されています。また、令和3年7月には、女子サッカーオランダ代表チームの東京2020オリンピック競技大会



事前キャンプを行う女子サッカーオランダ代表

事前キャンプを受け入れ、芝生の状態など施設整備に高い評価を受けました。さらに本年2月には、地域内外・多世代間のスポーツ・文化交流の新たな拠点として、旧小湊小学校を活用した「小湊さとうみ学校」がオープンしたことから、多文化交流室や空調設備付きの体育館、人工芝のフットサルコートなど、充実の設備を市内外に積極的にアピールし、一層の合宿誘致と交流人口の拡大、競技スポーツの普及を図ってまいります。

田舎暮らしへの高いニーズを 情報・支援提供でバックアップ

市民の誰もが主役となる協働と自立のまちづくりを実現するために、地域コミュニティの維持と強化は喫緊の課題となっています。

温暖な気候と都内からの好アクセスに恵まれた本市は、田舎暮らしや移住・定住の希望者からの人気が高く、近年のコロナ禍の影響や働き方改革による意識の変化に伴い、リモートワークの普及が見込まれています。

本市ではこれを好機と捉え、ふるさと回帰支援センターの機能強化を図り、就業や不動産、子育て関連など総合的な情報提供を行う



就農セミナーで田舎暮らしをお手伝い



にぎわいの創出が期待される魅力体験広場（イメージ）

旅行ニーズの多様化や地域間競争の激化、コロナ禍の影響による価値観や生活様式の変化への対応が、これからの観光地に求められています。そこで本市では、「選ばれ続ける旅行地」であるための戦略の一環として、日本の渚百選に選ばれている「前原・横渚海岸」周辺エリアを中心とした海辺の魅力づくりに取り組んでいます。このエリアの活性化のため令和3年

ほか、移住後のフォローアップサービスなど長期的なバックアップにより、移住者の積極的な受け入れを進めています。

また、最先端の医療施設や充実した介護福祉サービスなど、本市の特色と強みを生かした鴨川版CRC構想を推進し、東京都圏に居住する高齢者が生きがいを持ち、健康でアクティブな暮らしを提供できる地域づくりに取り組んでいます。

海辺の魅力づくりを 地方創生の起爆剤に

旅行ニーズの多様化や地域間競争の激化、コロナ禍の影響による価値観や生活様式の変化への対応

プロフィール

9月に供用を開始した「鴨川市魅力体験広場」について、さらなるにぎわい創出や地域の活性化を目指すため、魅力体験広場で事業を行う民間事業者を公募により選定しました。

魅力体験広場に新たな施設を整備し、クラフトビールの製造販売や、バーカリー&カフェ、浜焼きバーベキュー、お土産品の販売、

チャレンジショップなどの事業展開により、年間約24万人の入込客数を見込んでいます。

事業の開始は今夏を目指しており、市ではこれを地方創生の起爆剤として、さらなる地域活性化に取り組みとともに、「活力あふれる健やか交流のまち」の実現に向け、市民が主役のまちづくりにまい進いたします。

- ◆ 面積 191.14 km²
- ◆ 人口 3万1631人
- ◆ 世帯数 1万4562世帯

〔将来都市像〕活力あふれる健やか交流のまち鴨川、みんなが集い、守り育む、安らぎのふるさと

〔まちの特徴〕豊かな自然に囲まれ、日蓮聖人ゆかりの歴史と国内有数の観光・医療施設を誇る活気に満ちたまち

〔市町村合併〕平成17年2月11日 鴨川市と天津小湊町の2市町が対等合併

〔特産品〕ハバナリ、キンメダイ、房



鴨川市長
長谷川孝夫



州ひじき、サバ節、鴨川七里、鴨川レモン、長狭米、菜花、トマト、牛乳、萬祝染、房州鋸

〔観光〕鴨川シーワールド、鴨川オーシャンパーク、里のMUJーみんなの里、大山千枚田、誕生寺、清澄寺、鴨川松島、鯛の浦

〔イベント〕鴨川市納涼花火、連夜の花火IN天津小湊、棚田の夜祭り・あかり、菜な畑ロード、鴨川地区合同祭、吉保八幡のやぶさめ

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

確かな未来「次なる茨木」に向けて

古くから交通の要衝として、歴史・文化が息づくまち

茨木市は、大阪と京都の間で、電車で20分圏内に位置しています。

市内にはJR、阪急、モノレールの3路線11駅、名神と新名神高速道路のICがあるほか、近畿自動車道、大阪中央環状線などの国土幹線や広域幹線道路が走っていることから、抜群の交通アクセスを誇っています。大都市の近くでありながら、豊かな自然に恵まれ、古くからの遺産や文化的伝統が今もまちに息づいています。

昭和45年に開催された大阪万博の玄関口として急速に発展し、昭和50年には人口が20万人を超え、28万人となった今も増え続けています。

本市に残る人々の歴史は古く、活動の跡がうかがえるのは、今から1万5000年以上も前の旧石器時代になります。弥生時代の大集落とされる東奈良遺跡から出土した銅鐸どうたたくの鑄型は、完全な形で残っている国内唯一の石の鑄型です。

江戸時代には、忠臣蔵の赤穂藩主・浅野内匠頭あさのたくみのかみら多数の参勤交代の大名が郡山宿本陣（椿の本陣）を宿泊や休憩に利用しました。今も西国街道沿いに建つ本陣は当時の面影を残しています。

また、隠れキリシタンの里として知られる千提寺せんたいじ・下音羽地区しもおとわは、キリシタン大名、高山右近の領地であったことから、この地にキリスト教が布教されたと考えられており、聖フランシスコ・ザビエル像の絵画などが発見されました。

川端康成が学んだ教育のまち

日本人初のノーベル文学賞作家、川端康成は本市の名誉市民です。幼児期から旧制中学校卒業までを本市で過ごし、この時期に文学への志を深めました。昭和60年に川端康成文学館を開館し、企画展などを開催しています。

市では、教育委員会と学校現場が一体となって、学力高層を増加させることだけでなく、学力低層を減少させることに力を注いでいます。また、臨床心



追手門学院大学と同中学校・高等学校



防災公園と一体となった立命館大学

理士や社会福祉士などの教員以外の専門家を配置するなど、全ての子どもが学力を向上させる「一人も見捨てへん教育」に積極的に取り組んでいます。こうした「茨木の教育」は全国的に注目を集め、平成26年度以降150を超える市町村から視察を受けています。

また、市内には六つの大学（短期大学含む）があり、学生が多く活気にあふれています。特に追手門学院大学は8000人、立命館大学は7000人の学生が学んで



さまざまな機能を備えた複合施設（イメージ）



安威川ダム周辺整備（イメージ）

おり、地域に開かれた大学として市民に開放されるとともに、市主催のイベントや地域のイベント、さらには地域の商業施設と連携した取り組みを行うなど、世代間交流や地域活性化が図られています。もともと本市は、市民主体のイベントがととても盛んで、各小学校区単位でふるさとまつり、地区運動会、文化展が開催されており、各大学との連携に伴い、地域のイベントがより盛んになっていきます。

産業が集積、未来に伸びゆくまち

市北部と箕面市東部に広がる彩都^{さいと}では、地区ごとに特色あるまちづくりが進んでいます。西部地区にはバイオ・ライフサイエンス分野を中心に研究機関が立地し

ており、中部地区には大型物流施設による物流拠点が形成されています。新名神高速道路の茨木千提寺ICに隣接する東部地区の一部は工場や大型物流倉庫などの施設がすでに稼働しており、残りのエリアにおいても、事業化に向けて官民連携による取り組みを進めています。

「次なる茨木」に向けたまちづくり

本年の春には、100年に1度の大雨から市街地を守るために建設を進めてきた「安威川ダム」の堤体が完成します。市街地から車で20分、最寄りのICからは10分というアクセスの優れたダムであることから、観光拠点とするために、ダム湖畔に長さ日本一の歩行者専用吊り橋をはじめ、バンジージャンプ、サッカー場などのレジャー・スポーツ施設の整備を計画しており、令和6年以降に順次完成するよう進めています。

そして令和5年秋には、ホールや図書館、子育て支援、プラネタリウム、市民活動センターなど、さまざまな機能を備えた複合施設が完成します。世界的に活躍されて

いる建築家・伊東豊雄氏が手掛けるこの複合施設で、常にいろいろな発見や出会いがある、誰もがすぐしやすく、訪れたくなる「立体的な公園」のような場をつくりまします。本市では、「次なる茨木へ。」というブランドメッセージを掲げ、住み続けたいまちとして市民の皆さんに選ばれよう施策を展開しています。

「茨」という漢字の中に「次」と

いう文字があることから、過去・現在・未来をつないでいく「次々とひろがる、果てしない未来」をイメージし、これからの茨木への期待感と活動意欲を喚起したいとの願いが込められています。今後も、市民の皆さんが「豊かさ・幸せ」を実感し、希望に満ちあふれた生活を過ごすことができ、まちづくりに取り組んでまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 76・49km²
- ◆ 人口 28万3504人
- ◆ 世帯数 12万9376世帯

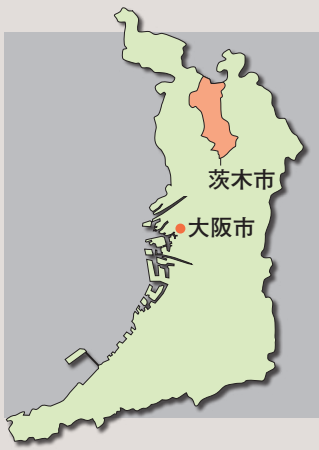
〔将来都市像〕誰もが「豊かさ・幸せ」を実感できるまちづくり

〔まちの特徴〕まち半分、やま半分。大阪と京都の中間に位置し、交通網が発達していることからアクセスが便利

〔特産品〕三島^{うぶ}独活、龍王^{りゆうおう}みそ、赤しそ、大甘青とう、ミニトマト、花苗、清酒



茨木市長 福岡洋一



〔観光〕総持寺（西国第二十二番札所）、茨木神社、疣水^{いぼみづ}磯良神社、郡山宿本陣（樺の本陣）、若園公園バラ園、茨木春日丘教会（光の教会）、川端康成文学館、文化財資料館

〔イベント〕市民さくらまつり、茨木里山まつり、いばらき×立命館DAY、茨木神社夏祭り、茨木フェスティバル、茨木^{あま}天^{てん}花^{はな}火^か大会、黒井の清水大茶会、農業祭・環境フェア、いばらきイルミフェスタ灯（AKARI）

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

市民に寄り添い、分かり合える 市政の実現を目指して

多面的な魅力を擁する
まち 周南

周南市は、山口県の東南部に位置し、中国山地に面した北部には、自然豊かな田園風景が広がり、瀬戸内海に面した南部に広がる島しょ部は、美しい自然景観を有しています。

JR山陽新幹線のぞみの停車駅でもある徳山駅の南側には、長年地域の発展に貢献し続け、令和4年2月に開港100周年を迎えた徳山下松港があります。この港を取り囲むように形成される周南コンビナートは、県内第1位の製造品出荷額を誇り、県の経済をけん引する中心的な役割を果たしています。

また、瀬戸内海沿岸に広がる幻想的な工場夜景は、日本夜景遺産



日本夜景遺産に認定されている工場夜景

に認定されており、市民のみならず多くの観光客を魅了しています。

市街地は、徳山駅を中心として、商業地や業務地、住宅地が形成され、市役所をはじめ、港や動物園、図書館、美術博物館などの各種公共施設が集積しており、居住環境に優れた利便性の良いコンパクトなまちとなっています。

自然と産業が調和した多面的な魅力を擁する本市へ、ぜひ一度お越しください。

日常をときほぐす観光

本市には、緑豊かな山々などの美しい自然や、そこで育まれた歴史、伝統、文化があります。こうした地域資源を有効に活用するため「日常をときほぐす観光」に取り組んでいます。「日常をときほぐす観光」とは、その地域に住んでいる方々にとっては当たり前前の風景、文化、日常に価値を見い出し、観光資源として活用することで、地域の活性化につなげていく本市独自の取り組みのことです。地域資源を掘り起こし、磨き上げることで、地元の方々の地域への愛着や誇りを醸成するとともに、来訪者へのおもてなし力の向



国の登録記念物でもある漢陽寺庭園（写真は曲水の庭）

上を図つてまいります。

本市の北部に位置する鹿野地域は、昭和の雪舟とも呼ばれた重森三玲氏が作庭した「漢陽寺庭園」をはじめ、多くの地域資源が集積していることから、「日常をときほぐす観光」の拠点エリアと位置付けています。

鹿野地域を中心に、本市の「日常」がより価値のあるものとなるよう取り組みを進めてまいります。

周南公立大学の開学

本市には、山口県東部唯一の四



周南公立大学として新たに開学する徳山大学

本年4月1日から、新たに「周南公立大学」として開学し、さらに開学から2年後には看護学科や情報科学部など、時代に即した新たな学部学科の設置を予定しています。

周南公立大学を周南地域の「知の拠点」と

年制大学で、令和3年4月に創立50周年を迎えた、学校法人徳山教育財団が運営する徳山大学があります。

少子化や人口減少などにより、地方や地方大学を取り巻く環境が厳しくなる中、令和元年8月、同財団から徳山大学の公立化に関する要望書が提出され、徳山大学公立化についての検討を開始しました。

約2年にわたり検討を重ね、公立化により、大学を地域の成長エンジンとした地方創生、地域課題を解決する能力を備えた人材の育成・定着、若者によるまちのにぎわいの創出を図ることができると考えました。

置付け、大学を生かした「誇りと品格と知性のあるまちづくり」を進めてまいります。

脱炭素化に向けた取り組み

近年、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。

本市では、水素利活用の推進や、豊富な森林資源とバイオマスを併せ持つ特性を生かし、市内でバイオマス材を生産する取り組みを推進しています。

そのほかにも、徳山下松港においては、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、西日本エリアのエネルギー供給拠点となるカーボンニュートラルポールの形成を目指した取り組みが進められています。

また、周南コンビナートの競争力の維持・強化と脱炭素化の両立を実現するため、本年1月6日、「周南コンビナート脱炭素推進協議会」を設立しました。

コンビナート企業や学術団体である化学工学会、学識経験者、行政が、カーボンニュートラルの実現に向けて連携する全国的にも珍しい取り組みであり、本市が脱炭素の変革を起こす旗振り役とし

プロフィール

て、産官学・地域が一体となった取り組みを進めてまいります。

市民の声を聞き、寄り添う

令和2年4月に、市民の皆さまと行政がお互いの立場や状況を正しく理解し合い、コミュニケーションの活発化を図るため、「市民の声を聞く課」を創設しました。

「市民の声を聞く」とは「市民の

◆面積 656・29km²

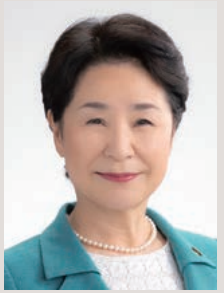
◆人口 13万9488人

◆世帯数 6万8113世帯

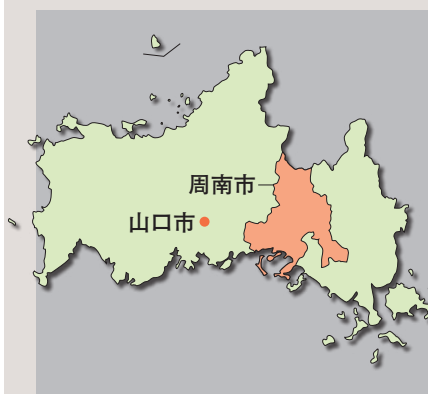
〔将来都市像〕人・自然・産業が織りなす 未来につなげる 安心自立都市 周南

〔まちの特徴〕北は中国山地、南は瀬戸内海に面し、臨海部にはコンビナートが広がる自然と産業が調和したまち

〔市町村合併〕平成15年4月21日、徳山市、新南陽市、熊毛町、鹿野町の2市2町が合併



周南市長 藤井律子



声が届く」ことに他なりません。

市民は市政に、市政からも市民に「言葉が届き」、やがて互いに相手の立場や考えに深く思いを巡らす「慮る心」を宿すようになり、それが「分かり合える」関係の構築につながっていくと考えます。

市民の皆さまの声をしっかりと聞き、寄り添い、分かり合える市政の実現を目指してまいります。

〔特産品〕徳山ふぐ、周南たこ、周防はも、梨、ぶどう、ジネンシヨ、わさび、トマト、地酒、高瀬茶

〔観光〕動物園、回天記念館、漢陽寺、周南工場夜景、湯野温泉、八代のナベヅル

〔イベント〕徳山夏まつり、周南みなとまつり、周南冬のツリーまつり、サンフェスタしんなんよう、かの冬火花「銀嶺の舞」

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。